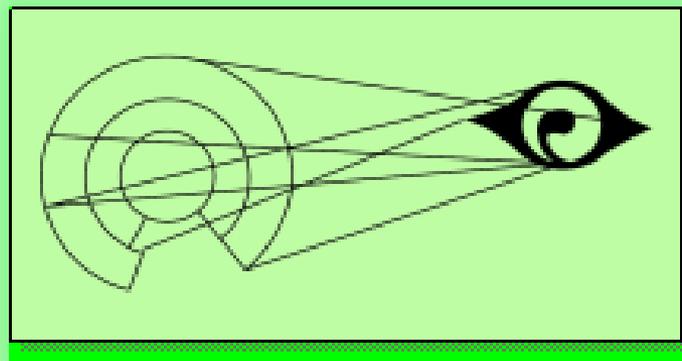


《 説明 》

第16次共同研究経過報告について



期日 令和元年（2019年）8月29日（木）

場所 ホテルスエヒロ

北海道教育研究所連盟 共同研究推進委員会

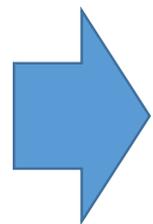
内容

- 1 北海道教育研究所連盟（道研連）
共同研究について
- 2 第16次共同研究の概要
- 3 第16次共同研究 1・2年次の取組
- 4 第16次共同研究 3年次の取組

1 北海道教育研究所連盟（道研連） 共同研究について

道研連共同研究とは

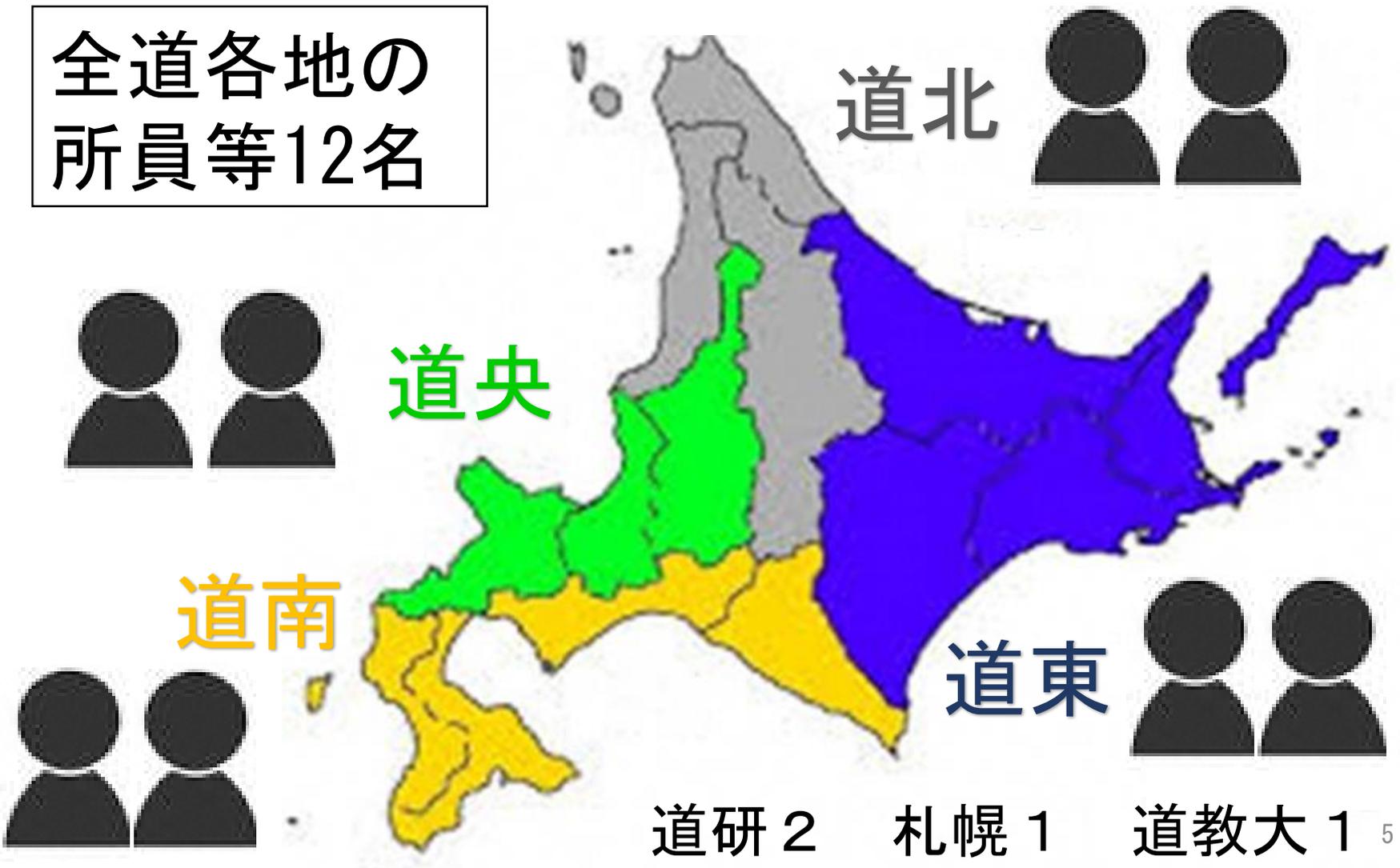
- 昭和44年に第1次共同研究が開始
共同研究推進委員（12名）が推進
- 道研連に加盟する加盟機関の所員等によって構成



全ての機関が対象

共同研究推進委員の選出 (H27～)

全道各地の
所員等12名



2 第16次共同研究の概要

研究主題

これからの時代に求められる
資質・能力の向上に係る支援
の在り方

研究のねらい

各教育研究所・研修センターが、**学校支援のために活用する研修コンテンツ等を収集・提供する**とともに、各教育研究所・研修センターが実施する**北海道の地域性等に対応した教員研修の充実を図る**ことにより、これからの時代の教員に求められる**資質・能力の向上に資する**。

研究内容 1

コンテンツによる支援

研究内容 2

ICTの活用による支援
～ビデオ通話ソフトウェアによる
遠隔研修～

3 第16次共同研究 1・2年次の取組

3 第16次共同研究 1・2年次の取組

第16次共同研究推進計画

	研究内容 1	研究内容 2		研究発表 大会
平成29年度 ＜1年次＞	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の実態に応じた研修コンテンツの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ道研の資料等を基にした活用しやすい研修コンテンツの作成 ○ 校内研修に活用できる映像資料の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・所員による映像資料の作成 ○ メンター研修等の実践事例の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・若手教員の育成を目指した短時間で行う研修実践の事例の収集 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオ通話ソフトウェアの活用の試行 <ul style="list-style-type: none"> ・所員によるビデオ通話ソフトウェアの活用方法の検討 	＜1年次～3年次＞ ○ 夏季所員研修会における所員の力量向上及び域内の学校におけるワークショップ型研修のファシリテーション（支援）の在り方 ○ Web上で提供する内容の共同研究推進委員会における情報共有 ○ 研究発表大会に	日高大会 平成29年 8月31日 9月1日
平成30年度 ＜2年次＞	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修コンテンツを活用した研修の実施、事例の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修「道徳科の授業づくり」のミニ研修コンテンツの活用・改善 ○ 校内研修に活用できる映像資料等の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科の授業づくり」に関わる研修コンテンツのプレゼンテーション動画の作成（スライド画面） ・校内研修「道徳科の授業づくり」のミニ研修コンテンツに関わる板書画像等の収集 ○ メンター研修等の実践事例の改善または作成 <ul style="list-style-type: none"> ・「メンター研修」を中心とした若手教員の育成を目指す短時間で行う校内研修事例の改善または作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオ通話ソフトウェアを活用した研修の試行 <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ通話ソフトウェアを活用した実践事例の収集 	○ 研究発表大会に	函館大会 平成30年 8月30日 31日
平成31年度 ＜3年次＞	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修コンテンツの普及・還元 <ul style="list-style-type: none"> ・研修コンテンツの活用事例の収集、研修コンテンツの改善 ○ 校内研修に活用できる映像資料等の普及・還元 <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科の授業づくり」に係るプレゼンテーション動画の活用事例の収集、改善 ○ メンター研修コンテンツの普及・還元 <ul style="list-style-type: none"> ・メンター研修コンテンツの活用事例の収集、改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオ通話ソフトウェアを活用した研修事例の普及・還元 <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ通話ソフトウェアを活用した研修等の実践事例の収集 	おける研究発表及び協議	空知大会 令和元年 8月29日 30日

研究内容1 コンテンツによる支援

- ①学校の実態に応じた研修コンテンツの作成
- ②校内研修に活用できる映像資料の作成
- ③メンター研修等の実践事例の収集・作成

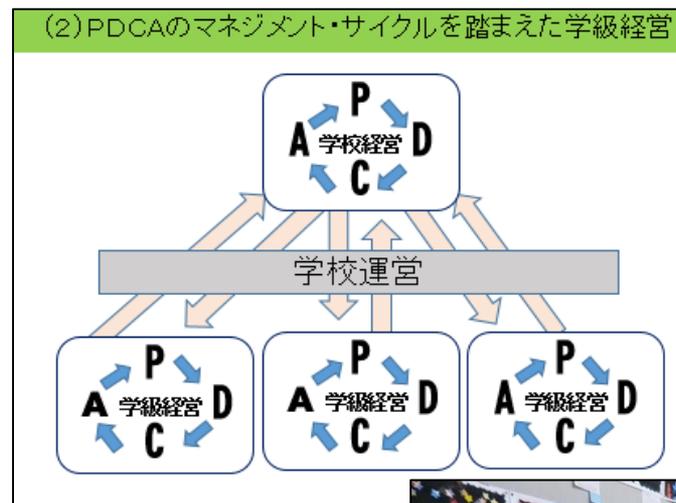
3 第16次共同研究1・2年次の取組

①学校の実態に応じた研修コンテンツの作成 (学級経営)

「学級経営」研修講座 演習の流れ	
Key Word 自己存在感を高める教師の働きかけ「事例のブラッシュアップ」	
研修名	「学級経営」 自己存在感を高める学級経営の在り方
対象	若年教員及び若年教員の指導に意欲のある教員
用途など	・メンター研修で活用する。 ・自己存在感や自己有用感が低い児童生徒の多い学校の改善を図る。 ・ある事例をブラッシュアップすることで、自校の実態に応じた実践に改善する。
備 考	準備するもの：付箋（3色） 横断紙（付箋の仲間分け）
時 間	内 容 ・ 留 意 点
15分	<p>自己存在感を高めるための事例をもとに、グループで自校の実態に合うようブラッシュアップを行う。 ※1グループを3～4名で構成する。 ※学習指導に関するグループと生徒指導に関するグループを用意する。 ※事例は、先輩教員の実践例やいじめ未然防止プログラム（北海道教育委員会）等を活用する。</p> <p>1 自己存在感を高めるため事例をもとに、各個人で記入する。（6分） 取組の効果：青の付箋 課題や留意点：赤の付箋 改善案：黄の付箋</p> <p>2 付箋に記入したことをグループで持ち寄り、仲間分けしながら、ブラッシュアップする。（6分）</p> <p>3 各グループでブラッシュアップした具体策を持ち寄り、共有する。（6分）</p>

（作成機関：上川教育研修センター）

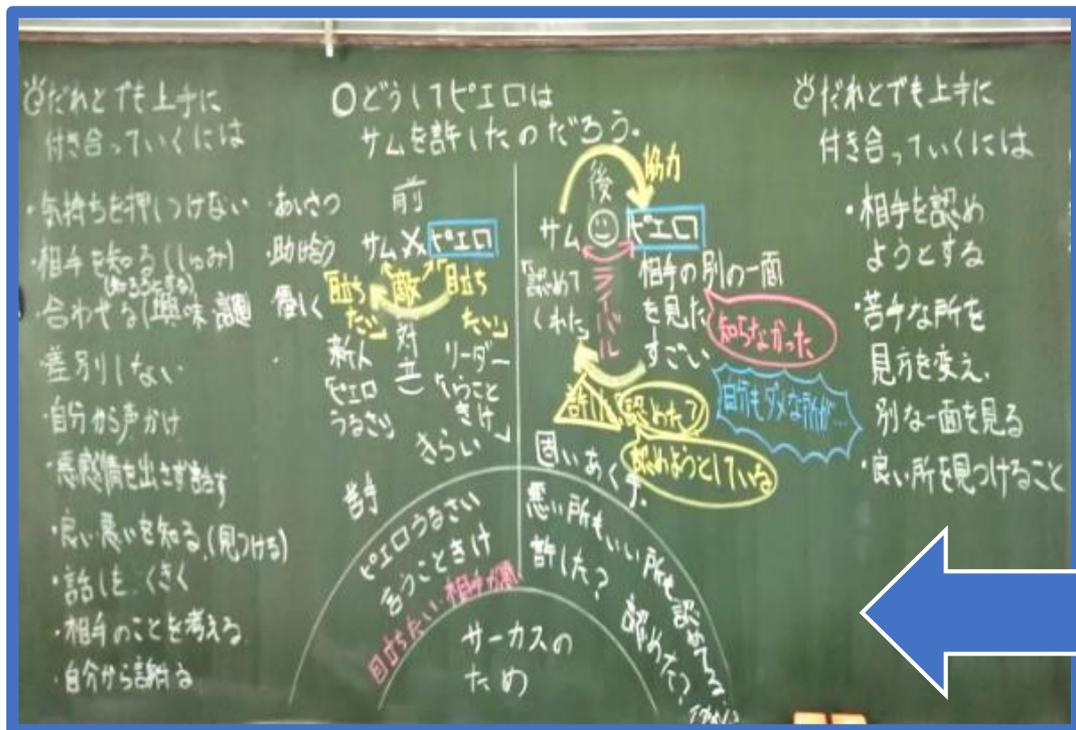
進行表



研修用スライド資料 13

3 第16次共同研究1・2年次の取組

①学校の実態に応じた研修コンテンツの作成・事例の収集（道徳科の授業づくり）



[国語中央北海道教育センター]

校内研修「道徳科の授業づくり」の二研修コンテンツ活用事例

1 読み物教材 小説読本第2巻「フランシスとジェロ」 2 参加者 小学校教員等 3 研修形態 会合	
□ コンテンツを活用した種の研修の成果など	
① 講習で習得された中心内容 (1) 死生観 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学ぶべきものは何と仰るのか、 - 「死生観を学ぶこと」、「死生観を伝えること」の意を伝えるため、 - 生かすに死をよむこと、死をよむに生かすこと、 ○ いかに生かすに死をよむのか、 - いかに生かすに死をよむのか、死をよむに生かすに死をよむこと、 ○ 死をよむに生かすに死をよむこと、 - 死をよむに生かすに死をよむこと、
② 授業中の声 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 死生観を学ぶこと、 ○ スカイラインのイラストを描くこと、 ○ 道徳科の授業の中で、道徳科の授業の中で、 ○ スカイラインのイラストを描くこと、 ○ 道徳科の授業の中で、
③ 成果 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳科の授業の中で、 ○ 道徳科の授業の中で、
④ 見聞 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習の導入部分で、 ● 講習の導入部分で、
□ 道徳科の授業例 (小学校高学年) 授業例	

②校内研修に活用できる映像資料の作成

校内研修

道徳科の授業づくりについて
(説明)

北海道教育研究所連盟共同研究推進委員会

北海道教育研究所連盟
Webページ

<http://www.dokenren.hokkaido-c.ed.jp/>
「研修コンテンツ一覧」に収納

【内容】

- 1 はじめに
 - (1) 課題の確認 (3分)
 - (2) 研修のねらいの明確化 (2分)
- 2 説明 これからの道徳教育 (20分)
 - 道徳の「特別の教科」化
 - 道徳科の目標から
 - 道徳科の授業づくり
 - 道徳科の評価のポイント

研修動画「道徳科の授業づくりについて」

3 第16次共同研究1・2年次の取組

③メンター研修等の実践事例の収集・作成

【網走地方教育研修センター】

「メンター研修」を中心とした、若手教員の育成を目指す短時間で校内研修の事例

研修名：適切なノート指導の在り方を具体的に学ぶための研修

目的：ノート指導の目的や意義を理解するとともに、具体的な指導方法について学ぶ

学校種	小学校	研修時間	30分
対象	(メンティ)：ノート指導に不慣れな初任層・若手教員 (メンター)：授業改善推進チーム、または研修担当者や若手育成に関心の高い先輩教員		
配付物	・児童のノート（児童が実際に使用しているもの、もしくは一部をコピーしたもの） ・配付資料 ～適切なノート指導のために～（別紙参照）		

■ 展開

時間	主な内容	備考
3分	1 オリエンテーション (1) ミニ研修の目的を確認する。 (2) 今回のミニ研修の全体の流れを確認する。	※ミニ研修の流れをあらかじめ板書しておくことよ。
7分	2 実態の交流 (1) 児童のノート（もしくは一部をコピーしたもの）を見ながら、書き方の良い点、改善が必要な点について交流する。 (2) 自分自身のノート指導の現状や課題について振り返り、交流する。	※付箋を活用し、視点ごとにメモを書いてもよい。
15分	3 説明	※授業改善推進チームメンターが配付資料や児童のノートの画像等を示しながら、他校での取組

活用事例
(ノート指導)

実践例 1時間の授業全体を構造的に表した板書づくり

小学校 第3学年 算数 単元名「わり算」

ポイント①

「課題」や「見通し」、「まとめ」など、学習のプロセスを板書し、1単位時間の中で、子どもの考えが深められるようにしています。

ポイント②

考えていく上で重要になる事柄や語句等をまとめたり、色チョークや付箋で示すことにより、子どもが解決の見通しをもったり、学習内容のポイントを押さえたりできるようにしています。

ポイント③

課題の解決に向けた子どもの考えを、色チョーク等で整理したり、簡潔にまとめたりすることにより、子どもの考えが一層深まるようにしています。

ポイント④

「まとめ」に書かれる文章は、「課題」に対応するようにし、子どもの1単位時間の学習内容の理解が確かなものになるようにしています。

配付資料
(構造的な板書)

研究内容 2 ICTの活用による支援

～ビデオ通話ソフトウェアによる遠隔研修～

○ビデオ通話ソフトウェア（Skype）を活用した研修の試行



【メリット】

- 移動の必要がないため、時間を有効に使える。
- 各学校で活用できれば、研修の機会が増える。
- 遠隔地だけでなく、小・中連携、他校種、他管内との交流ができる。

○ 研究内容2 ICTの活用による支援

・ ビデオ通話ソフトウェアを活用した研修の実践事例の収集

- ① 遠隔地に所在する研究所員同士の協議に活用した事例
- ② 3つの会場を結んで、相互に実践発表を行った事例
- ③ 遠隔地に所在する研究所員同士の実践発表や協議に活用した事例
- ④ 学校で行った講演をSkypeで配信し、研究所で受講した事例

4 第16次共同研究 3年次の取組

4 第16次共同研究3年次の取組

第16次共同研究推進計画

	研究内容 1	研究内容 2		研究発表 大会
平成29年度 ＜1年次＞	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の実態に応じた研修コンテンツの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ道研の資料等を基にした活用しやすい研修コンテンツの作成 ○ 校内研修に活用できる映像資料の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・所員による映像資料の作成 ○ メンター研修等の実践事例の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・若手教員の育成を目指した短時間で行う研修実践の事例の収集 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオ通話ソフトウェアの活用の試行 <ul style="list-style-type: none"> ・所員によるビデオ通話ソフトウェアの活用方法の検討 	＜1年次～3年次＞ ○ 夏季所員研修会における所員の方量向上及び域内の学校におけるワークショップ型研修のファシリテーション（支援）の在り方 ○ Web上で提供する内容の共同研究推進委員会における情報共有 ○ 研究発表大会に	日高大会 平成29年 8月31日 9月1日
平成30年度 ＜2年次＞	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修コンテンツを活用した研修の実施、事例の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修「道徳科の授業づくり」のミニ研修コンテンツの活用・改善 ○ 校内研修に活用できる映像資料等の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科の授業づくり」に関わる研修コンテンツのプレゼンテーション動画の作成（スライド画面） ・校内研修「道徳科の授業づくり」のミニ研修コンテンツに関わる板書画像等の収集 ○ メンター研修等の実践事例の改善または作成 <ul style="list-style-type: none"> ・「メンター研修」を中心とした若手教員の育成を目指す短時間で行う校内研修事例の改善または作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオ通話ソフトウェアを活用した研修の試行 <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ通話ソフトウェアを活用した実践事例の収集 		函館大会 平成30年 8月30日 31日
平成31年度 ＜3年次＞	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修コンテンツの普及・還元 <ul style="list-style-type: none"> ・研修コンテンツの活用事例の収集、研修コンテンツの改善 ○ 校内研修に活用できる映像資料等の普及・還元 <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科の授業づくり」に係るプレゼンテーション動画の活用事例の収集、改善 ○ メンター研修コンテンツの普及・還元 <ul style="list-style-type: none"> ・メンター研修コンテンツの活用事例の収集、改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオ通話ソフトウェアを活用した研修事例の普及・還元 <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ通話ソフトウェアを活用した研修等の実践事例の収集 	おける研究発表及び協議	空知大会 令和元年 8月29日 30日

○研究内容1 コンテンツによる支援

- ・ 研修コンテンツの普及・還元
- ・ 活用事例から成果と課題の検証

○研究内容2 ICTの活用による支援

- ・ ビデオ通話ソフトウェアを活用した研修等の実践事例の収集

共同研究推進委員でまとめた意見

○研究内容1 研修コンテンツによる支援

- 道研連Webページの登録
＜学 校＞お気に入り、ショートカット
＜各研究所＞Webページにリンク
- 各研究所・センター所員による活用
・ 自校で実施 ・ 研修講座等で宣伝
- 興味を引く宣伝の工夫

「研修コンテンツ紹介リーフレット」の作成

研修コンテンツ紹介リーフレット

北海道教育研究所連盟第16次共同研究（3年次）
全道の加盟機関の実践等を集めた
**「研修コンテンツ」を
活用してみませんか？**

**学校現場の
ニーズに
対応！**

学級経営の在り方
道徳科の授業づくり
「メンター研修」を中心とした
短時間でを行う校内研修

全道の研究員が
3つのテーマで
校内研修をサポート！

2. これからの道徳教育

① 道徳教育の重要性

② 道徳教育の現状

③ 道徳教育の課題

④ 道徳教育の未来

⑤ 道徳教育の役割

⑥ 道徳教育の意義

⑦ 道徳教育の価値

⑧ 道徳教育の使命

⑨ 道徳教育の責任

⑩ 道徳教育の誇り

道研連 **で検索！**

「研修コンテンツ」は、北海道教育研究所連盟Webページ左下の「研修コンテンツ一覧」に収納されています。
<http://www.dokenren.hokkaido-c.ed.jp/>

○まずは、気軽にアクセスしてください。

「研修コンテンツ」一覧

○「学級経営」系研修コンテンツ

1	半日・1日から長期づくりを通じた学級経営の進め方について（進行表、スライド資料あり）
11	【学習指導】学習指導は、どのように進められるの？
12	【隠れたカリキュラム】半日研修に生かせる「隠れたカリキュラム」とは？
13	【学びに向かう学習づくり】半日・1日から長期づくりはどのように行うの？
14	【学習指導・振り返り】半日研修での振り返りはどのように進められるの？
2	自己存在感を高める半日研修の進め方について（進行表、スライド資料あり）
11	【自己存在感・事例】児童生徒の自己存在感を高める事例の工夫とは？
12	【自己存在感】児童生徒の自己存在感を高める事例の工夫とは？
13	【実践的場所】他者を促す半日研修はどのように行うの？
3	PDCAマナシメントサイクルを踏まえた半日研修の進め方について（進行表、スライド資料あり）
11	【悩み・疑問の解決】日々の悩みや疑問から、半日研修を見直すきっかけは？
12	【児童生徒の反応】児童生徒の反応から、半日研修を見直すきっかけは？
13	【教員自身の反応】教員自身の半日研修を見直すきっかけは？

○「道徳科の授業づくり」系研修コンテンツ（1日・1泊2日・2泊3日あり）

4	校内研修「道徳科の授業づくり」について（進行表、スライド資料、書籍資料あり）
11	【指導計画・自己評価】自分と異なる考えや立場について、どのように理解を深めるの？
12	【教材・評価の工夫】教材や評価をどのように工夫するの？
13	【自分との関わり】道徳的価値について自分事として伝えさせるための工夫とは？
14	【効果的な話し合い】児童が関わりやすい話し合いの進め方とは？
15	【評価の工夫】道徳的価値が育つ教材はどのように評価するの？
16	【評価の工夫】児童が関わりやすい話し合いの中で道徳的価値についての理解を深めるための工夫とは？
17	【評価の工夫】生徒の関わりや理解を大切にしたい授業にすることはどのような工夫があるの？

○「メンター研修」を中心とした、若手教員の育成を目的とした短時間でを行う校内研修の事例

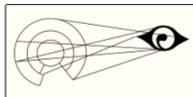
5	授業づくりについて（各コンテンツに進行表あり）
11	【学習指導】一単位時間の授業はどのように進められるの？
12	【ノート指導】ノート指導はどのように行うの？
13	【評価の工夫】効果的な評価のポイントとは？
14	【IT活用】授業でのITはどのように活用されるの？
15	【主体的な学び・自己評価】児童生徒の自己評価はどのように行うの？
16	【課題解決的な学習】「問題解決的な学習」の授業はどのように進められるの？
17	【問題解決的な学習】問題解決的な学習における導入の工夫とは？
6	道徳科の進め方について（各コンテンツに進行表あり）
11	【道徳科・授業づくり】道徳的価値の育みを深める授業づくりとは？
12	【道徳科・教材・評価】道徳科で「教科書以外」はどのように活用されるの？
13	【道徳科・評価】道徳科の評価はどのように行うの？
7	きょうだいの関係性について（各コンテンツに進行表あり）
11	【きょうだい・授業づくり】きょうだい関係の授業はどのように進められるの？
12	【きょうだい・教材指導】きょうだい関係はどのように行うの？
8	生徒指導に関わって（各コンテンツに進行表あり）
11	【不登校対応】不登校児童生徒へのよりよい支援とは？
9	人材育成について（各コンテンツに進行表あり）
11	【人材育成】若手教員をどのように育成されるの？

※研修等に活用できるコンテンツですが、閲覧するだけでも明日からの実践に生かれます。

4 第16次共同研究3年次の取組

「研修コンテンツ」の紹介（道研連Webページより）

北海道教育研究所連盟



- メニュー
- ホーム
 - 道研連の概要・事業計画
 - 研修会・研究発表大会
 - 共同研究
 - 加盟機関一覧
 - 連盟情報
 - キャビネット
 - リンク

新着情報

■令和元年度（2019年度）第74回北海道教育研究所連盟研究発表大会（空知大会）兼第81回全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会について（[New 最終案内.pdf](#)、[情報交換会のお知らせ.pdf](#)、[参加申込書.xlsx](#)）
令和元年（2019年）8月29日（木）、30日（金）に滝川市で開催予定です。
【申込期日：7月29日（月）】

■令和元年度（2019年度）第2回共同研究推進委員会（Web会議）について
令和元年（2019年）6月17日（月）～7月1日（月）に開催しました。
共同研究推進委員の皆様、ありがとうございました。

■令和元年度（2019年度）北海道教育研究所連盟夏季所員研修会
令和元年8月1日（木）2日（金）に開催しました。
全道各地から、28名の参加がありました。ありがとうございました。

■令和元年度（2019年度）北海道教育研究所連盟第1回共同研究推進委員会
令和元年5月10日（金）に開催しました。ありがとうございました。

■平成31年度北海道教育研究所連盟総会及び所長研修会
平成31年4月19日（金）に開催しました。ありがとうございました。

お問い合わせ
北海道教育研究所連盟事務局
（北海道立教育研究所企画・研修部）
〒069-0834
北海道江別市文京台東町42
Tel. 011-386-4512
dokenren@hokkaido-c.ed.jp

研修コンテンツ一覧

北海道教育研究所連盟（道研連）について

北海道教育研究所連盟（通称「道研連」）は、昭和25年4月に道内の各教育研究所・研修センター相互の連携により、北海道教育の振興・発展に寄与することを目的として結成され、道研に事務局が置かれています。

研修コンテンツ一覧

学級経営

道徳科の授業づくり

メンター研修

「学級経営」ミニ研修コンテンツ

1 学びに向かう集団づくりを通じた学級経営の在り方について（進行表、スライド資料あり）

- | | |
|-----|---|
| 演習例 | (1) 【 学習規律 】学習規律は、どのように徹底するの？ |
| | (2) 【 隠れたカリキュラム 】学級経営に生きる「隠れたカリキュラム」とは？ |
| | (3) 【 学びに向かう集団づくり 】学びに向かう集団づくりはどのように行うの？ |
| | (4) 【 学級経営・困り感 】学級経営上の困り感はどうに共有するの？ |

2 自己存在感を高める学級経営の在り方について（進行表、スライド資料あり）

- | | |
|-----|--|
| 演習例 | (1) 【 自己存在感・事例 】児童生徒の自己存在感を高めるための実践について |
| | (2) 【 自己存在感 】児童生徒の自己存在感を高めるための実践について |
| | (3) 【 支持的風土 】他者を認める学級経営の在り方について |

3 PDCAマネジメントサイクルを軸とした学級経営の在り方について

- | | |
|-----|---|
| 演習例 | (1) 【 悩み・疑問の解決 】日々の学級経営の悩み・疑問の解決について |
| | (2) 【 児童生徒の変容 】児童生徒の学びに向かう姿勢の育成について |
| | (3) 【 若手教員の育成 】若手教員の学級経営力の育成について |

「学級経営」研修講座（演習の流れ）	
Key Word	隠れたカリキュラム
研修名	「学級経営」 学びに向かう集団作りを通じた学級経営の在り方
対象	全教職員（学級担任）
用途など	・年度当初に学校で統一したきまり（教室デザイン、学習規律）をつくる ・各学級の学習環境や学習規律の共通理解を図る
備 考	準備物：横道紙（2～4枚）、付箋紙（青・赤）、マジック
時 間	内 容 ・ 留 意 点
15分	各学級担任の隠れたカリキュラム（教室環境、学習指導）に関して成果（よい点）・課題を交流しあい、共通理解のもと学校としてのきまりをつくる。 ※小学校では、低・中・高（または低・高）、中学校では各学年が入り混じるようにグループを編成する。（2～4グループ）
	1 各担任、自分の学校での教室環境、学習指導に関しての成果と課題を書き出す。（3分） 成果：青の付箋 課題：赤の付箋 ※1枚1項目とする。
	2 横道紙に付箋を張り出しながら、分類、整理し学校として取り組みたい重点項目をら点あげる。（7分）
	3 各グループの重点項目を交流しあい、学校としての重点項目を決定する。（5分）

（作成機関：後志教育研修センター）

共同研究推進委員でまとめた意見

○研究内容2 ICTの活用による支援

1 即実践可能なSkype活用法

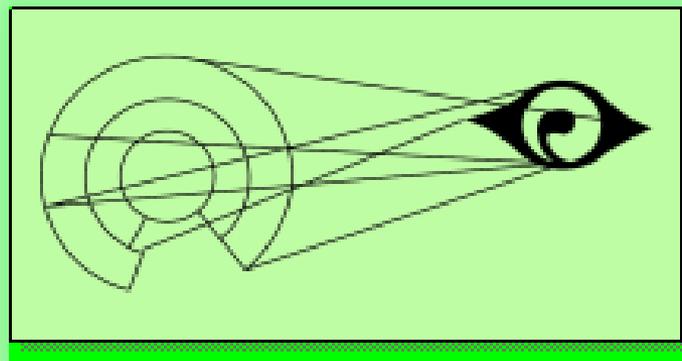
- (1) 研修講座等での活用（遠隔研修、同時配信）
- (2) 所員会議での活用
- (3) 授業研究への活用（指導案検討等）

2 今後、期待できるSkype活用法

- (1) 授業での活用（小規模校同士の交流等）
- (2) 小・中連携、小・小連携
- (3) 校内研修の共有（メンター研修等の共有）

《 説明 》

第16次共同研究経過報告について



期日 令和元年（2019年）8月29日（木）

場所 ホテルスエヒロ

北海道教育研究所連盟 共同研究推進委員会